

# 風力発電のための送電網整備の実証事業費補助金

## 平成30年度予算額 77.0億円（30.0億円）

### 事業の内容

#### 事業目的・概要

- 風況が良好で、大規模な土地の確保が必要な風力発電に適した地域は限定されている上、そうした地域では送電網が弱い弱であるため、風力発電の導入拡大に支障をきたしています。再生可能エネルギーの中ではコストが相対的に安い風力発電の導入促進を図るためには、それらの地域の地域内送電網を強化することが喫緊の課題となっています。
- そのため、風力発電の適地である地域内の送電網の整備・技術課題等の実証を行います。平成30年度においては、北海道、東北（※）における送電線的设计・整備等を行うこととします。

※北海道は平成25年度に、東北地方では平成26年度に事業実施主体(SPC)を採択

#### 成果目標

- 平成25年度から10年間を目途に実施する事業であり、本事業を通じて、風力発電の導入拡大に資する送電線整備・運用に関する6件の技術の確立を目指します。

#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）

国

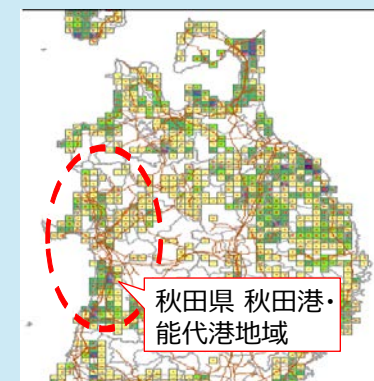
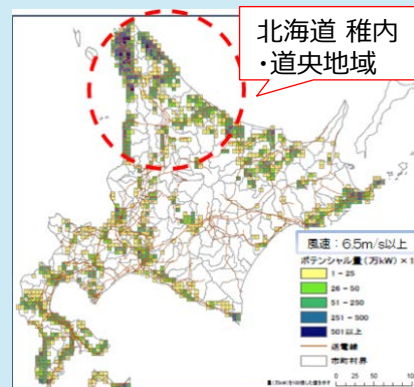
補助（1/2）

民間事業者

### 事業イメージ

#### 特定風力集中整備地区での地域内送電網整備・技術実証

- 北海道・東北の一部を特定風力集中整備地区と定め、送電網整備・技術実証を実施します。



#### 【実証する技術課題の例】

- 北海道西名寄地区 – 再エネ大規模導入地域における周波数維持・リアルタイム出力抑制技術の開発・実証  
風力発電の出力抑制を最小化し発電の比率を高めるため、電力需給をリアルタイムで観察し出力をコントロールする技術を実証します。
- 東北地方秋田沿岸・酒田・庄内地域 – 落雷対応技術の系統影響効果の実証  
落雷が多く発生する地域において、風車が多数接続された系統に対し、落雷が与える影響の有無や対策技術の効果を実証します。